

科目名	国際経営論 International Business Management						
科目担当者	奥村 憲博 OKUMURA Norihiro						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(3)
授業の概要	<p>この講義では、国際経営を理解するための基本知識（主要な経営学説、知識・技術・イノベーション、会計財務、人的資源、行政と国際化など）について学習する。</p> <p>経済のグローバル化は、中国、インド、ロシア、ブラジル等の新興工業国の台頭を迎え、ますます地理的範囲を増大しつつある。そうした経済のダイナミズムは、日本の大企業から中小企業にまで大きな影響を及ぼしている。「この状況に対応するために、日本企業はグローバル戦略と管理方法をいかに策定、実践すべきか」を念頭に置きながらの講義となる。</p>						
授業の到達目標	<p>①国際経営を理解するための基本知識（主要な経営学説、知識・技術・イノベーション、会計財務、人的資源、行政と国際化など）を学び、国際的視野(人間性・教養・国際性)を身に付けることになる。</p> <p>②また、経済のグローバル化の拡大、経済のダイナミズムを新興工業国を例に考察することにより、解決・改善に向けて主体的に対応する力(課題発見力・問題設定力・思考力・ソリューション提案力)を涵養する。</p>						
授業計画・内容	1	国際化の進展と日本					
	2	多国籍企業の参入形態					
	3	多国籍企業の経営学説					
	4	多国籍企業の参入戦略					
	5	多国籍企業と知識・技術・イノベーション					
	6	移転価格					
	7	国際経営と外国為替レート					
	8	国際経営とリスクリアル・オプションと投資の意思決定					
	9	資金調達国際化					
	10	会計の国際化					
	11	産業空洞化と産業集積					
	12	人材の国際化と地域特性					
	13	日本的人的資源管理と国際化					
	14	国際人の育成					
	15	行政と国際経営					
授業外学修 (事前学修)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、Moodle に投稿されるプレゼン資料を予習し、講義内での意見、質問等をノートにまとめておく（毎週 2 時間程度）。 						
授業外学修 (事後学修)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回、授業内容を復習し、それに関連する事例を新聞、テレビやインターネット等における国内外報道を検索し、ノートに追記する（毎週 2 時間程度）。 						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	定期試験				80%		①、②
	平常点（講義中の質疑・発言等）				20%		①、②
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	原則として教科書やテキストは使わない。パソコンのパワーポイント・ソフトを使って講義する（毎回 Moodle にプレゼン資料投稿）。						
参考文献							
その他							